

## 多文化共生のまちづくりをめざして ～外国人と日本人の共生～

「多文化共生」とは、異なる文化を持つ人がともに尊重し合い、自分らしく、いきいきと生活することをいいます。

市では、留学や技能実習などの目的で、ネパールやフィリピン、中国など23か国509人(平成28年8月末現在)の外国人が暮らしています。外国人住民の数は年々増えていますが、中には文化・習慣の違いや言語の問題などから、地域での暮らしになかなか馴染めない人もいます。

### 外国人が日本で疑問に思ったり、困ったなと感じたりするのはどんなときでしょうか

部屋を  
借りるのが大変

仕事を  
見つけるのが大変



同じ地域に住む外国人が日本で感じているさまざまな悩みを知ること、それが多文化共生の第一歩です。

異なる文化や言語を持つ私たちが、互いに安心・安全に暮らしていくためには、日常生活に必要な情報を得ることやコミュニケーションをとって支え合える関係を持つことも重要です。

まずは、あいさつなど、身近なところでのコミュニケーションから始めてみましょう。

学校で子どもが  
困っている

病院での説明が  
分からない

風習や習慣  
を受け入れて  
もらえない



災害のときに  
どうしたらいいか  
分からない



### 多文化共生のための取組のうち4つを紹介します

#### 国際理解講座(世界の家庭料理体験教室・講演会)

外国文化に対する理解を深めるため、日本で暮らしている外国人を講師に迎え、出身国の家庭料理体験教室と、文化などを紹介する講演会を開催しています。



#### 外国人のための日本語教室

毎週火曜日(午後7時～8時30分)、市役所北別館2階で開催しています。3期(4～7月、9～12月、1～3月)あり、受講料は無料です。(教材費は実費負担)



#### 暮らしの便利帳(多文化共生ガイドブック)

暮らしに役立つ情報をまとめた「暮らしの便利帳(多文化共生ガイドブック)」を配布しています。暮らしの便利帳は、2か国語(英語、ネパール語)で作成しており、それぞれ見開きで左側に外国語、右側に日本語で同じ内容を記載しています。



#### フレンドシップ交流会(国際文化交流会)

年に1回、小郡および近郊に住む外国人を招いて交流会を開催しています。外国人によるスピーチや、日本と外国の相互の文化紹介などを通して、交流を図っています。



●問合せ先 企画課男女共同参画推進係 ☎72-2111(内線222)